

# 第27回 人権教育推進大会



第27回西岐波校区人権教育推進大会が、西岐波ふれあいセンターで2月10日(土)に開催され、150名の参加がありました。

校区人権教育推進委員協議会の芥川会長の挨拶が始まり、宇部市教育委員会人権教育課の縄田主査がコミュニティースクールなど、地域と共にある学校づくりに対する支援、協力を呼びかけました。

続いて、小・中学生の作文と標語の優秀賞表彰と受賞作品の朗読が行われました。

大会スローガンが採択された後、山口大学大学院医学系研究科保健学専攻 山根敏恵教授による「誰もが住み慣れた地域で暮らせる支援」ひきこもりの正しい理解」と題して講演がありました。

山根教授は、心のケアを専門とされ、NPO法人ふらっとコミュニティの理事長です。

NPO法人ふらっとコミュニティは、精神障がい者が地域の中で安心して暮らせる地域社会

づくりをめざしている団体です。

ひきこもりとは、外出できるかどうかではなく、家族以外の人の関わりがない状態、または家族との関わりも持たない状態を指します。

ひきこもりの平均年齢は、32・7歳、男性が79・5%だそうです。

ひきこもりの高年齢化に伴い、親の年齢も上昇し、年金生活者が増えることにより必然的に経済状況の悪化も始まっているそうです。

ひきこもりは、本人だけの問題ではなく、家族との関係性の見直しが必要です。

ひきこもりの関係で悩まれている方は、是非相談されてはいかがでしょうか。

### 連絡先

NPO法人ふらっとコミュニティ

☎ 21-11552

私受けスニび私害は私私私私私私